

2018年3月期第2四半期累計 決算説明資料

菊水電子工業株式会社
www.kikusui.co.jp



コンパクト・ワイドレンジ直流電源
PWR-01シリーズ

目次

会社紹介(事業概要)

P3~

2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結) P12~

2018年3月期 業績予想(連結)

P23~

今後の事業戦略

P25~

会社紹介(事業概要)

会社紹介(事業概要)

● 会社概要(2017年9月末現在)

社名(銘柄コード)	菊水電子工業株式会社(6912)	
設立	1951年(昭和26年)8月8日	
資本金	22億125万円(3月決算)	
発行済株式数	9,900,000株(1単元株数100株)	
事業内容	各種電子計測器・産業用電源装置・ソフトウェアの設計、製造、販売及び輸出入	
大株主 (自己株式は含まず)	株式会社ケーティーエム	10.89%
	菊水取引先持株会	10.61%
	菊水電子工業従業員持株会	5.48%
	株式会社みずほ銀行	4.31%
	小林寛子	4.15%
	日本生命保険相互会社	3.61%
	ケル株式会社	2.64%
	株式会社三菱東京UFJ銀行	2.57%
	橋本幸雄	2.25%
	三井住友信託銀行株式会社	2.19%
代表者	代表取締役社長 小林一夫	
従業員数 (当社グループ)	295名(2017年9月末現在) []は前年比増減 研究開発: 81名 [±0] 生産・購買: 82名 [+3] 営業: 102名 [+7] 管理: 30名 [-5]	
主要納入先	防衛省、株式会社日立製作所、株式会社東芝、三菱電機株式会社、日本電気株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社デンソー	

テクノ
フロンティア
2017



本社移転
(横浜市都筑区
センター南)

会社紹介(事業概要)

● 国内外拠点・関連子会社



●は海外代理店

国内拠点

本社

菊水創発センター(開発拠点)

富士勝山事業所(製造拠点)

営業所: 横浜、仙台、さいたま、名古屋、吹田、福岡(出張所)

関連子会社

フジテック株式会社(山梨県南都留郡富士河口湖町)
1986年6月設立 連結 出資比率: 75%

KIKUSUI AMERICA, INC. (米国カリフォルニア州サンタクララ市)
2004年10月設立 連結 出資比率: 100%

菊水貿易(上海)有限公司(中国 上海市)
2006年6月設立 連結 出資比率: 100%

会社紹介(事業概要)

● 沿革

1951
昭和26年

株式会社菊水電波設立
8月8日、東京都大田区高津にて
資本金30万円、従業員4名、従業員名で発足
主要製品はラジオ用ダイヤル

創業社長 小林 隆
(1904年10月 - 2016年)

創業時のダイヤル

創業時の建屋

創業メンバー
小林正樹 (取締役)、小林 隆 (取締役)、菊池栄造 (取締役)
渡辺正洋 (取締役)、一柳敏郎、川崎 隆夫

1957
昭和32年

ダイヤルから
測定器メーカー菊水へ
計測器がダイヤルの売上を上回る
OEMのトランジスタラジオも生産

乾電池ディケード専用器
CRC-39A
3000Hz・4端子形式
現在でも標準品として生産

ロングウェーブTRラジオ
TR-504
DEM開発していた
トランジスタラジオ

1961-62
昭和36～37年

菊水電子工業株式会社
へ社名変更
東京都大田区高津
資本金1億2000万円
従業員100名

オーディオ用トーンメータ
計測器の生産に力点を置く

計測器部門
FM-10
FM-100
FM-1000

計測器部

1966-68
昭和41～43年

第一次創業の年
計測器の生産に力点を置く
計測器の生産に力点を置く
計測器の生産に力点を置く

計測器部

1971-74
昭和46～49年

創立20周年
第一次創業の年
計測器の生産に力点を置く
計測器の生産に力点を置く

計測器部

1981-82
昭和56～57年

米空軍との大型発注
オシロ 7160台 (23億円)
F100搭載機用エンジン制御
システム開発

計測器部

1985-88
昭和60～63年

オシロスコープCOM3000シリーズ
グッドデザイン産業機械部門大賞を受賞
オランダに「菊水ヨーロッパ」を設立
英国マルコーニ・インストルメンツ社と
日本総代理店契約締結

計測器業界初の快挙！
グッドデザイン産業機械部門
大賞を受賞した
オシロスコープ
COM3000シリーズ

オシロスコープ COM7000シリーズ
営業が伸びることも高画質だけで
どんどん注文が舞い込んだヒット製品

1989-91
平成元～3年

株式会社店頭公開
西東京営業所 開設
専用物流会社
ケイアールシー株式会社設立

1991年11月
株式を店頭市場に新規公開
公募による新株発行額：75万株
発行総額：2,330円/1株

1990年10月
立川市に
西東京営業所
開設

株式会社菊水の総合日本社 (計測器中国総代理店)
1993年10月 売上高11億円、従業員数390名であった

2000-01
平成12～13年

ISO14001認証取得
計測器部による事業環境
改善活動推進 (2001)
計測器部による事業環境
改善活動推進 (2001)

GOOD DESIGN AWARD 2001

1995
平成7年




ISO9001認証取得
株式会社ホームページ開設
全国営業拠点をオンライン化

1995年12月22日
計測器部がISO9001認証
取得 (登録番号: QA-1130)

計測器部

会社紹介(事業概要)

● 事業活動トピックス

＜経営施策＞		2002	 ＜中国＞
	・経営改革スタート	2003	・上海代表処開設
＜新製品＞	・ソリューション営業スタート ・生産改革 (セル生産方式)	2004	・菊水電子(蘇州)設立(生産拠点)
・KES7000シリーズ(EMC) ・KFM2030(FC) ・PWRシリーズ(直流) ・PCR-Mシリーズ(交流) ・PATシリーズ(直流)	・開発革新活動(DSUP)	2005	・グローバル製品上市 (TOSBXXXシリーズ) ・大連化学物理研 (DICP)技術提携
・KHA1000(EMC) ・PLZ6000R(回生負荷) ・TOS3200(漏洩電流試験器) ・PWR、PCR-Mラインアップ追加	・創立55周年記念行事	2006	・菊水貿易(上海) 設立(販売拠点)
	・国内営業所統廃合	2007	・キクスイ・アメリカ設立(販売拠点) ・グローバル製品上市 (PCR-Mシリーズ)
	・PATスマートラック	2008	・欧州代理店網再編… ・Electronica 2008出展
・KHA3000(EMC) ・PFX2511(バッテリー充放電試験システム)		2009	・菊水貿易(上海)の分公司統廃合 ・生産拠点の合理化(菊水電子(蘇州)閉鎖)
・TOS5300シリーズ(耐電圧・絶縁抵抗試験器) ・Milla-E50(電気自動車(EV)急速充電器)		2010	・Electronica 2010出展
・PCR-LEシリーズ(高機能交流電源) ・PWXシリーズ(薄型直流電源)	・創立60周年記念行事	2011	
・PCR-LE、PWXラインアップ追加 ・Milla-E20(電気自動車(EV)急速充電器)		2012	・Electronica 2012出展
・TOS9213AS(太陽光パネル用耐電圧・絶縁抵抗試験器) ・PLZ-4W(電子負荷)スマートラックの拡充		2013	・深圳分公司設立
・TOS7210S(PID絶縁試験器) ・TOS5200(耐電圧試験器)		2014	・Electronica 2014出展
・PMX-Aシリーズ(小型直流電源)		2015	
・PLZ-5Wシリーズ(電子負荷)	・富士勝山事業所にデモルーム開設 ・Webサイト「KIKUSUI mag」開設	2016	・Electronica 2016出展

会社紹介(事業概要)

● ビジネスモデル

当社の独自性

計測技術と電源技術の両方を有していること！

(微小から大電流まで、電気エネルギーを高精度で制御、測定する技術・ノウハウ)



グローバルに販売展開！

電子計測器

電気のモノサシ、産業の「マザーツール」として、家電製品、OA機器、電子製品などの「安全性」や「正確性」の測定・試験に使用されます。近年は、自動車のノイズ耐性(EMC)に関する試験、また電池や太陽光発電素子の絶縁性能試験の測定需要が高まっています。

耐電圧試験器



EMC試験器



電源機器

研究開発や製造工場などで、安定した電力(直流・交流)を供給する設備として使用されます。近年は、ハイブリッドカー・電気自動車の評価に必須となる電子負荷装置(電力を消費する装置)、パワーコンディショナーなどの評価に必要な交流電源の需要が高まっています。

直流電源



交流電源

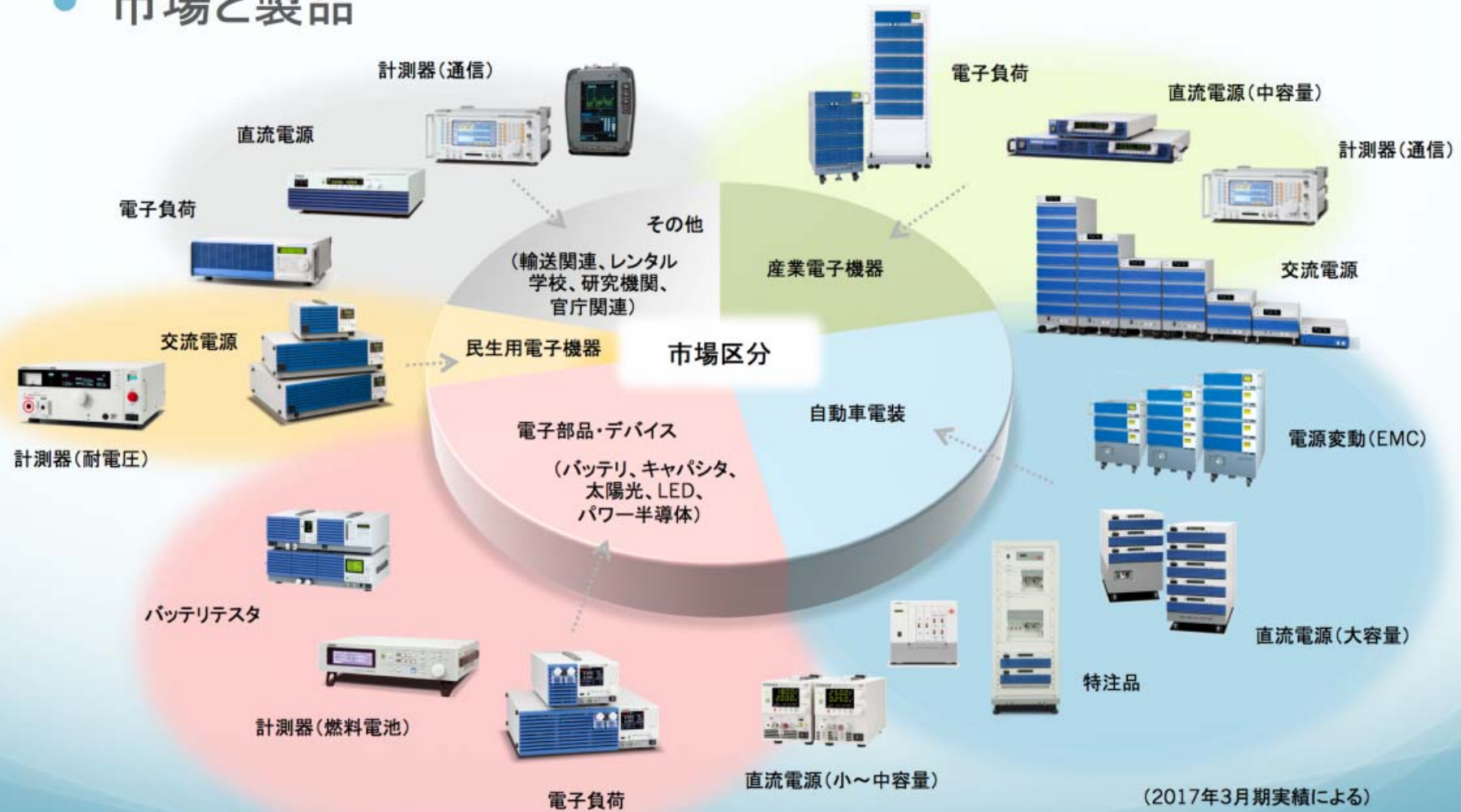


電子負荷



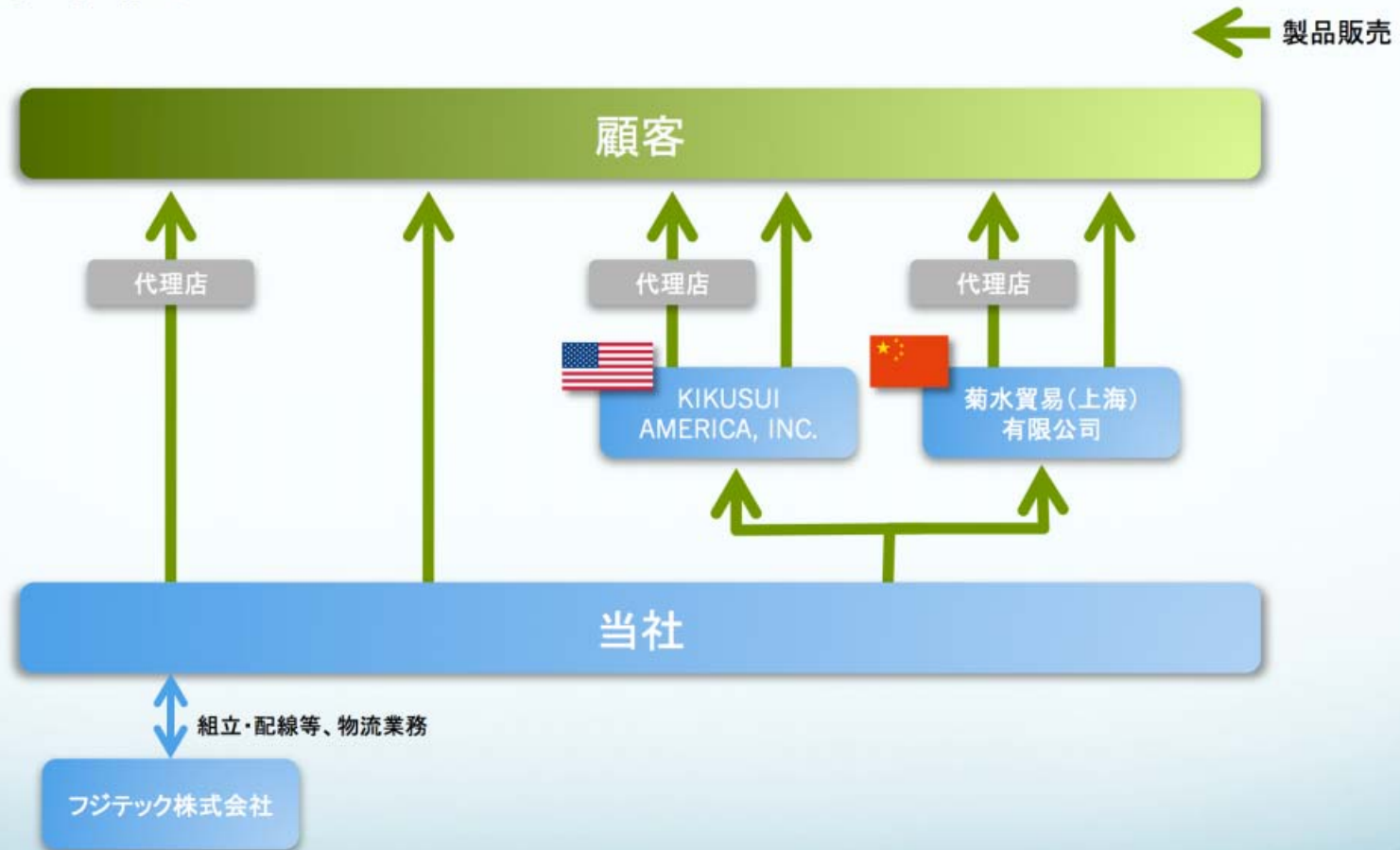
会社紹介(事業概要)

● 市場と製品



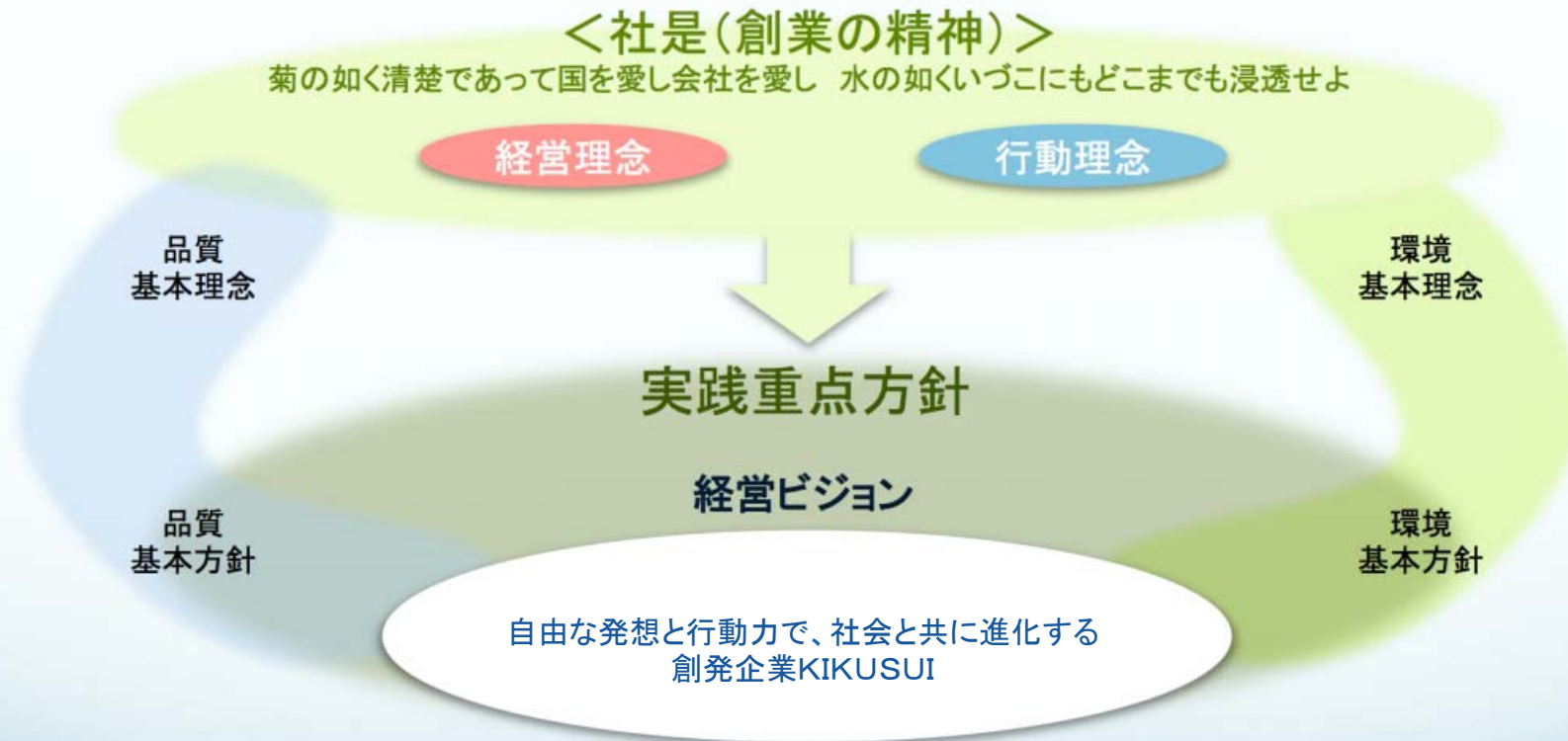
会社紹介(事業概要)

- 事業系統図



会社紹介(事業概要)

- コーポレートステートメント



2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)



● 決算サマリー

- 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



経営の概況

当社グループが属する電子計測器、電源機器等の業界においては、製造業の設備過剰感は改善傾向にあるものの、設備投資への慎重な姿勢が見られ、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは引き続き環境・エネルギー関連市場、自動車関連市場及び冷凍空調市場を中心に積極的な営業活動や販路開拓活動と研究開発活動を行うと共に、原価低減と経費節減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億1千7百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

損益面におきましては、研究開発費、広告宣伝・販売促進費の増加や本社移転に伴う費用の発生などによる販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は8千2百万円(前年同期比41.2%減)

経常利益は8千5百万円(前年同期比38.7%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益は7千4百万円(前年同期比8.0%減)となりました。

2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

● 損益計算書

	17年/3月期(2Q累計)		18年/3月期(2Q累計)		前年同期比	
	金額(百万円)	対売上構成比(%)	金額(百万円)	対売上構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高	3,544	100.0	3,517	100.0	△26	△0.8
売上原価	1,698	47.9	1,676	47.7	△22	△1.3
売上総利益	1,845	52.1	1,841	52.3	△4	△0.3
販売費及び一般管理費	1,705	48.1	1,758	50.0	53	3.1
営業利益	140	4.0	82	2.3	△57	△41.2
営業外収益	25	0.7	24	0.7	△0	△2.9
営業外費用	26	0.7	21	0.6	△4	△18.3
経常利益	139	3.9	85	2.4	△53	△38.7
税金等調整前四半期純利益	162	4.6	88	2.5	△73	△45.2
法人税・住民税及び事業税 法人税調整額等	79	2.2	12	0.4	△66	△83.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	80	2.3	74	2.1	△6	△8.0
1株当たり四半期純利益	9.55円		8.86円			

※単位未満の金額は切捨て、百分率は四捨五入。

※増減率について、前期または当期の数値のいずれかが、マイナスまたは1000%を越える場合は表示を「-」にしております。

2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

● 売上高と経常利益

- 売上高: 3,517百万円
【前年同期 3,544百万円】 Δ 0.8%
- 経常利益: 85百万円
【前年同期 139百万円】 Δ 38.7%
- 親会社株主に帰属する
四半期純利益: 74百万円
【前年同期 80百万円】 Δ 8.0%

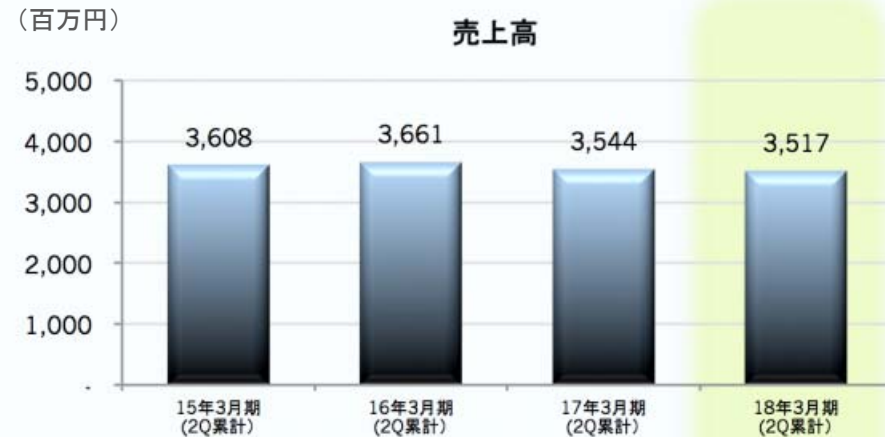
Point



環境・エネルギー関連市場、自動車関連市場及び冷凍空調市場を中心に積極的な営業活動や販路開拓活動と研究開発活動を行うと共に、原価低減と経費節減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億1千7百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

損益面におきましては、研究開発費、広告宣伝・販売促進費の増加や本社移転に伴う費用の発生などによる販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は8千2百万円(前年同期比41.2%減) 経常利益は8千5百万円(前年同期比38.7%減) 親会社株主に帰属する四半期純利益は7千4百万円(前年同期比8.0%減) となりました。



2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

● 製品群別売上高

- 電子計測器: 773百万円
【前年同期 835 百万円】 Δ 7.4%
- 電源機器: 2,602百万円
【前年同期 2,570 百万円】 +1.2%
- その他: 141百万円
【前年同期 138百万円】 +2.3%

Point

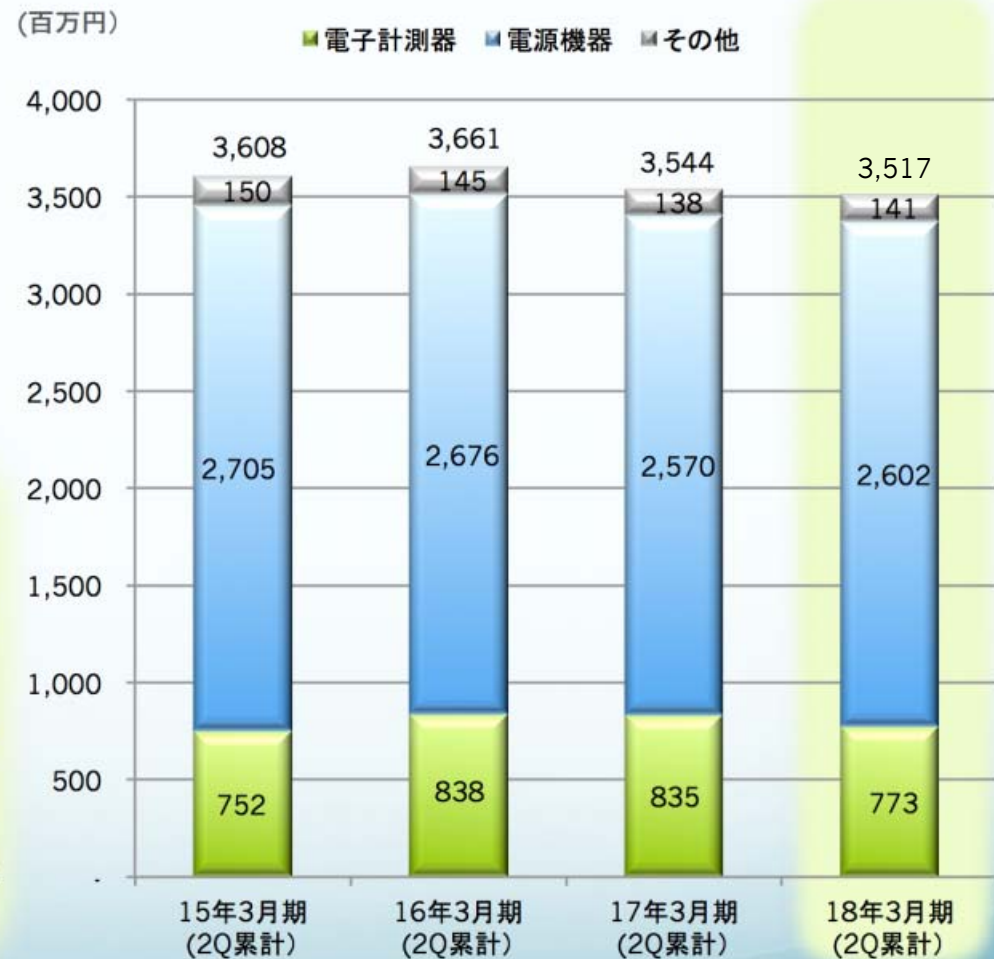


《電子計測器群》

次世代自動車関連市場や電子部品市場への安全関連試験機器が好調に推移いたしました。前年同期好調だった航空機用電子機器の測定器が低調に推移したことなどにより、前年同期実績を下回る結果となりました。

《電源機器群》

次世代自動車関連市場や電子部品検査装置向け等への直流電源が好調に推移いたしました。また、車載関連市場やエネルギー関連市場への交流電源や電子負荷装置に動きが見られたことなどにより、前年同期実績を上回る結果となりました。



2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

● 製品群別売上高構成比

- 電子計測器: 22.0%
【前年同期 23.6%】 $\Delta 1.6\%$
- 電源機器: 74.0%
【前年同期 72.5%】 $+1.5\%$
- その他: 4.0%
【前年同期 3.9%】 $+0.1\%$

Point



電子計測器の売上が減少し、電子計測器の構成比率が低下しました。

- 電子計測器
- 電源機器
- その他



● 製品群別売上総利益率

- 電子計測器: 52.4%
【前年同期 49.1%】 $+3.3\%$
- 電源機器: 51.6%
【前年同期 52.3%】 $\Delta 0.7\%$

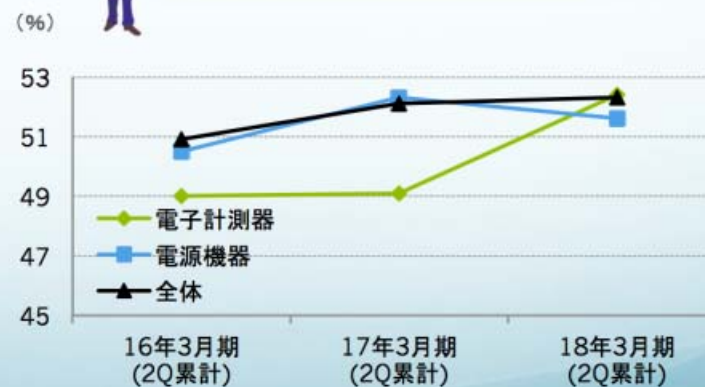
売上総利益率: 52.3%

【前年同期 52.1%】 $+0.2\%$

Point



原価低減の効果により若干改善されました。



2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

● 海外売上高

- 北米:133百万円
【前年同期 132百万円】 +0.6%
- アジア:824百万円
【前年同期 831百万円】 △ 0.9%
- 欧州:102百万円
【前年同期 66百万円】 +54.4%
- その他の地域:2百万円
【前年同期 3百万円】 △ 15.4%

海外売上高合計:1,062百万円
【前年同期 1,033百万円】 +2.8%



Point

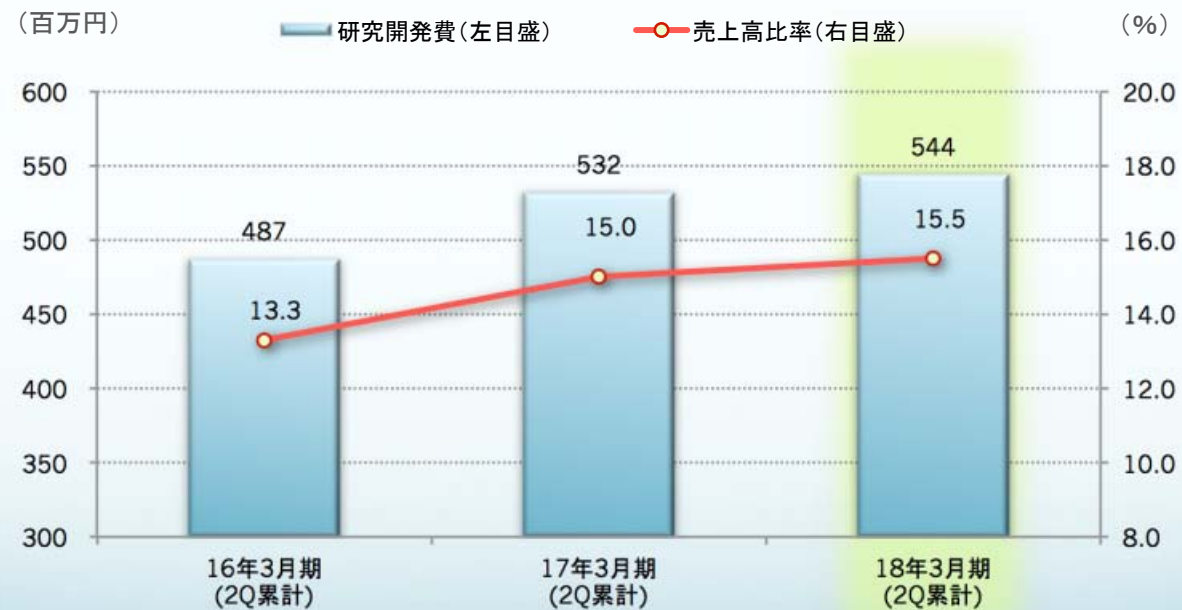


米国では、車載関連市場への直流電源やIT市場への電子負荷装置に動きが見られました。欧州では、航空機関連市場や家電関連市場への直流電源や交流電源に動きが見られました。アジアにおいては、中国では、車載関連市場、エネルギー関連市場への安全関連試験機器、直流電源や電子負荷装置が好調に推移いたしました。韓国では電子部品関連市場への安全関連試験機器、また、東南アジアでは冷凍空調市場や家電関連市場への安全関連試験機器にそれぞれ動きが見られました。

2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

- 研究開発投資(対売上高比率)

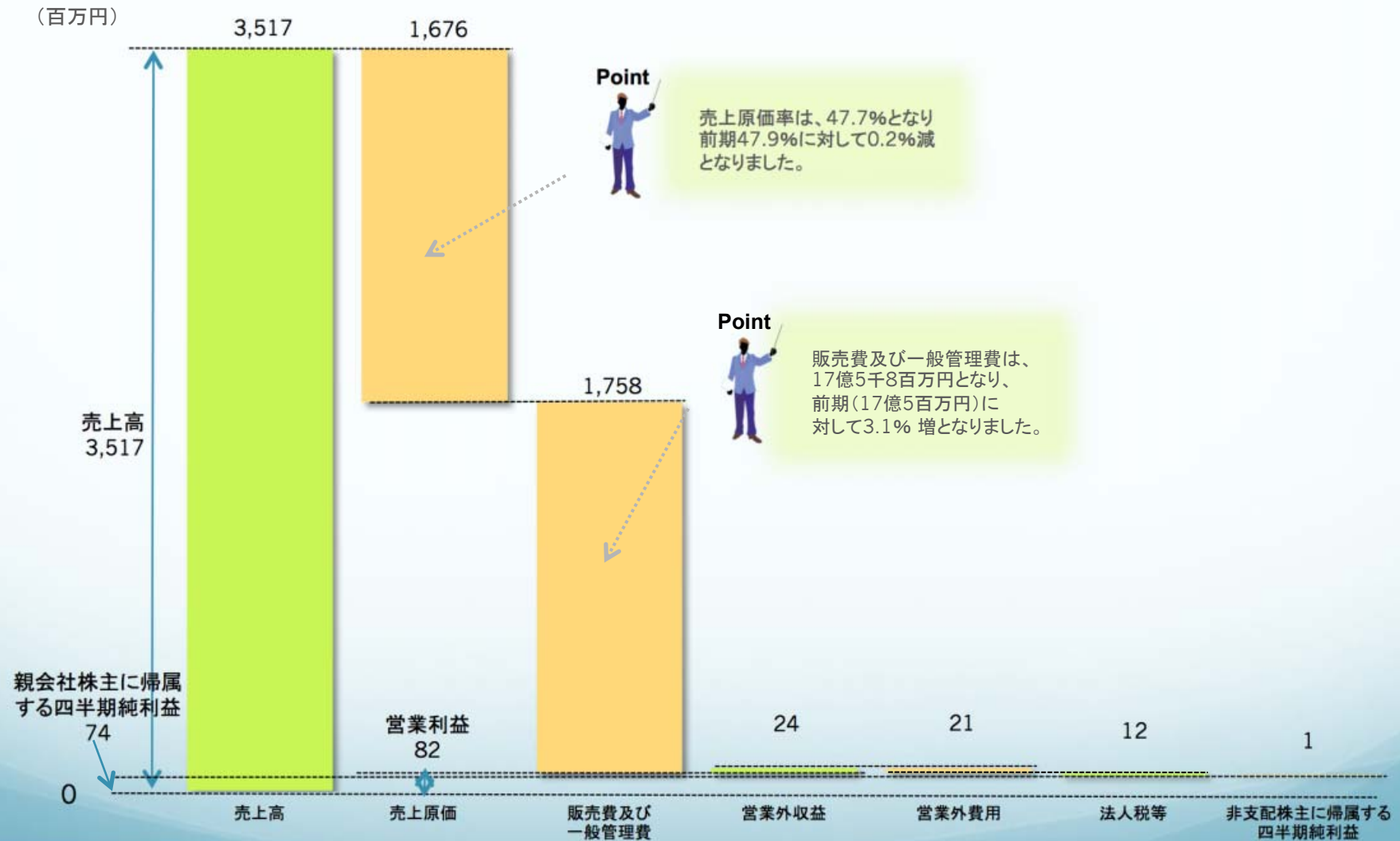
- 544百万円(15.5%)
【前年同期 532百万円(15.0%)】



2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

● 損益の概況

(百万円)



2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

● 貸借対照表

(百万円)

【資産の部】	17/3/31	17/9/30	増減
流動資産合計	7,036	6,679	△356
固定資産合計	4,144	4,620	476
資産合計	11,180	11,300	119
【負債の部】	17/3/31	17/9/30	増減
流動負債合計	1,370	1,205	△164
固定負債合計	792	903	110
負債合計	2,162	2,109	△53
【資本の部】	17/3/31	17/9/30	増減
資本金	2,201	2,201	-
資本・利益剰余金	7,090	6,981	△109
自己株式	△718	△726	△8
その他の包括利益累計額合計	405	695	289
非支配株主持分	37	39	1
純資産合計	9,017	9,191	173

2018年3月期 第2四半期累計 業績概要(連結)

● キャッシュ・フロー

【CF計算書】 単位:百万円	15年/9月期	16年/9月期	17年/9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	119	179	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	14	△90	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208	△201	△192
現金及び現金同等物の増減額	△77	△131	△222
現金及び現金同等物の期首残高	2,830	2,819	2,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,753	2,687	2,645

Point



営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少等による資金の増加が、たな卸資産の増加等による資金の減少を上回り、1億3千5百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等による資金の減少が、定期預金の減少等による資金の増加を上回り、△1億6千8百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得及び配当金の支払い等により、△1億9千2百万円となりました。

現金及び現金同等物は、前連結会計年度の期末残高に比べ、2億2千2百万円減少し、26億4千5百万円となりました。

(百万円)



2018年3月期 業績予想(連結)

2018年3月期 業績予想(連結)

	17年/3月期	18年/3月期		
	当期実績(百万円)	通期予想(百万円)	前期比増減額(百万円)	前期比増減率(%)
売上高	7,736	7,800	64	0.8
営業利益	490	460	△30	△6.2
経常利益	468	480	12	2.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	334	315	△19	△5.8

	17年/3月期	18年/3月期		
	当期実績(円)	通期予想(円)	前期比増減額(円)	前期比増減率(%)
1株当たり 配当金	22.00	22.00	0	0.0

今後の事業戦略

今後の事業戦略

環境・新エネルギー分野に注力

ホームエネルギーマネジメントシステムなど



アジア(中国, 韓国)を中心に海外市場拡販を強化!

本資料における注意事項

本資料は、2018年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2017年10月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

[本資料および当社IRに関するお問い合わせ先]

菊水電子工業株式会社 総務部 IR担当

TEL: 045(482)6912 E-mail: ir@kikusui.co.jp URL: <http://www.kikusui.co.jp/>